

戸川貞雄 とら 小説家。明治二十七年十一月、二十五日東京生れ。昭和
 四十九年七月五日歿（八十二歳）。筆名ニ末申、ニ末由築。大正七
 年早稻田大學文學部英文科卒。同期の岡田二郎、濱田養介等と同人誌
 『地平線』を、次ぐ『基調』を發刊。十四年『不同調』同人。戦後平
 塚市長の二期務めた。評論家戸川猪佐武、芥川賞作家菊村到の父。

著書『蠶く』（大正十二年四月十一日新潮社）『新進作家叢書』、
 『小説集・第一集』昭和二年版』（合著・文藝家協會編、昭和二年五
 月十一日新潮社）、『夜光珠』（昭和九年一月）『二十日新潮社』、『橋
 本放五郎』（昭和十六年十一月二十五日拓南社）、『國防文藝論』（昭
 和十七年二月）『二十日青年社』、『新世代叢書』、『曉の叫ぶ』（昭
 和十七年九月十八日八絃社杉山書店）、『第一の感激』（昭和十七年
 十一月二十五日大阪・日本出版社）、『勤王浪人平野國注・下巻』（昭
 和十七年十一月八日今日の問題社）『新人叢文藝叢書』、『武蔵切辨
 慶』（昭和十九年十一月二十五日國民社）、『好色五人女』（編者、昭
 和二十二年九月十八日杉山書店）、『メシヤ教批判』（合著、昭和二十
 六年九月、二十五日日本宗教新聞社編刊）等。

